

✿ ピーナツ掘りをしたよ

ピーナツ(落花生)ってどんなふうに実が成るか知っていますか。「土の中にできる」ことは知っていてもそれがおいしいもの仲間のよう根っこにできるのではなく、花が咲いた後に茎が下に向かって伸びて土に突き刺さりその先に実をつけることを知っている人は少ないのではないのでしょうか。

6月の終わり頃、「こあら」横の空き地にピーナツの種を10粒まきました。

2週間後から次々と芽が出始め、9つの「ピーナツ」の赤ちゃんが誕生です。隣には同じ日に種をまいたコスモスが風に揺れて成長を競います。



8月になるとどちらも花が咲き始め、「こあら」に遊びに来る親子が「なんだろう」と行き帰りに観察するようになりました。お部屋のなかでも「あの土の下にピーナツがかくれんぼしてるんだって」という話題でわくわくを楽しみました。

そして、11月に入り葉っぱの色が黄色になると収穫のサインです。職場体験で施設に来ている中学生のおにいさん、おねえさんたちに手伝ってもらい「ピーナツ掘り」をすることにしました。

子どもたちがおそろおそろ茎を握りいっせいに引っ張って「よーいしょ!」。土の中から次々とピーナツが現れ、「いっぱいくっついてる!」と歓声があがります。シートの上に広げてから子どもたちがひとつひとつ摘んで、みんなで分けて持ち帰りました。次の日、「子どもといっしょにきれいに洗って調理して食べました。おいしかった〜!」という嬉しい感想が聞けました。

土の中でいつの間にか大きく成長していたピーナツたち。「だいじょうぶ、ちゃんと大きくなっているよ。」とお母さんたちに語りかけているようでした。



子育てスポット

すくすく広場「こあら」 大橋 浩美